

新佐呂間町長

武田温友町政スタート



9月14日、多くの職員に拍手で迎えられ初登庁。職員を前にし、町政を担う決意を伝え、新町長としての第一歩を踏み出しました。

■12年ぶりとなる町長選挙投票

9月11日の任期満了による町長選挙が8月25日に告示され、8月30日に12年ぶりとなる投票が行われました。

投票は、町内8か所の投票所で午前7時から午後6時まで行われ、選挙当日の有権者数は4,184人、投票者数は3,494人で全体の投票率は83.51%となり、前回の町長選挙を4.85ポイント下回る投票率となりました。(前回：平成20年の町長選挙 88.36%)

開票作業は午後8時から町民センターで行われ、掲示板前には大勢の人が開票結果の行方を見守る中、午後8時46分に結果を発表。選挙会を終了しました。

翌日の31日には、当選証書付与式が役場2階会議室で行われ、榎本選挙管理委員長より当選者の武田温友氏に当選証書が手渡されました。

■投票総数

武田 温友 氏	1792票
齊藤 裕美 氏	1673票

■投票所別の投票率

投票所	当日の有権者数	投票者数	投票率
町民センター	2,332人	992人	42.54%
知来公民館	92人	66人	71.74%
仁倉公民館	104人	78人	75.00%
浜佐呂間活性化センター	422人	306人	72.51%
漁村環境改善総合センター(富富士)	252人	174人	69.05%
若里活性化センター	210人	139人	66.19%
若佐コミュニティセンター	525人	386人	73.52%
栄公民館	247人	187人	75.71%
期日前投票	—	1,166人	—
計	4,184人	3,494人	83.51%

■町長選挙における選挙運動費用の収支について

佐呂間町長選挙における選挙運動費用の収支状況は次のとおりです。

◇支出制限額 1,763,500円

立候補者氏名 (立候補届出順)	収入総額	支出総額
武田 温友	1,162,142円	1,162,142円
齊藤 裕美	1,000,000円	751,290円

以上、公職選挙法第192条の規定により公表します。

☎ 選挙管理委員会
2・1292



就任のごあいさつ

新しい佐呂間町の 未来をつくります

佐呂間町長

武田 温 友

清々しい秋晴れが続き、9月の暑さが嘘のように秋の深まりを感じる季節となりました。

町民の皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度の任期満了に伴う佐呂間町長選挙におきまして、町民の皆さまの深いご理解と多くの方々の力強いご支援をいただき、人も自然も大好きな佐呂間町のこれから4年間の舵取りを託され、その責務の重大さに、改めまして身の引き締まる思いであります。

先ずは、これまでの3期12年間、本町発展のためにご尽力され、数々のご功績を築かれた前川根町長に対しまして、長年のご労苦に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

佐呂間町は、雄大で青さが映えるサロマ湖やパッチワーク模様に変化に富んだ緑豊かな農村風景、山海の豊富な幸など素晴らしい魅力をたくさん秘めた町であります。

佐呂間町の素晴らしさを知るのは私たちだけではなく、佐呂間町をふるさとに持ち全国で活躍されている方や、佐呂間町の風土に触れたことのある方など、沢山の方がその魅力と佐呂間町が秘めた可能性に期待を寄せてくれています。

それを形にしたのが平成27年にスタートした佐呂間町サポーターズ倶楽部事業であります。

人口の減少が続く佐呂間町にあつて、過疎化の課題は佐呂間町だけで解決できるのではなく、首都圏を中心にした全国からの応援があつてこそ、暗闇の中でも一筋の希望の光が見えてくるものであります。

当初は、全国でも先駆的な事業とすることもあり、会員登録者数の確保など不安を抱えてのスタートでありましたが、本年9月2日現在の会員数は2876人に上っています。

この事業は会員数を増やすことが目的ではなく、会員の方と佐呂間町

民の心を一つにして、もっともっと佐呂間町を素晴らしいまちにしたい、という本質を改めて認識して、これからの新たな事業展開を考えてまいります。

そして今、私たちは安定した社会で平穩に生活できていますが、ここまでの佐呂間町の歴史の中では、筆舌に尽くし難い零からの開拓の苦難や、貧困の窮地から英知と英断の上に確立した世界初のホタテ養殖技術など、先人の並々ならぬ努力があつたことを忘れてはなりません。

戦争の時代を乗り越え、必死になつて佐呂間町の礎を築いてくれた先人に感謝と尊敬の念を持ち、その歴史を後世に伝承していくことが、今を生きる私たちの使命であると考えております。

地域経済の発展は勿論ですが、人の心を豊かにする歴史と文化の伝承もまちづくりにとって大切な構成要素であります。

昨年5月には30年続いた平成から新たな令和の時代の幕が開き、本来ならば今夏の開催が予定されていた東京オリンピックに日本中が新たな時代の夢と希望と感動に満ち溢れているはずでした。

しかし、昨年末に中国で発生したとみられる新型コロナウイルスは瞬く間に全世界へと蔓延し、未だその終息の糸口は見えずに、世界経済は

大きなマイナス成長となり、日本経済も深い景気後退局面に入っております。

このため、今後の佐呂間町におきましても、農水産物の価格低迷や地域経済の冷え込みによる町税の減収、更には、佐呂間町の収入の根幹をなす地方交付税の減額などが想定され、今後ますます厳しい財政運営を強いられものと見込んでおります。

このような難局を乗り越えるには、先人が刻んでこられた歴史に学ぶとともに、佐呂間町サポーターズ倶楽部会員からの応援やふるさと納税収入などの新たな財源を有効に活用することにより、町民の皆さまの心を一つにした「新しい佐呂間町の創造」の念が重要であります。

佐呂間町に暮らす子どもたちには夢と希望を、働き盛り世代の方には佐呂間町で働く誇りを、高齢者の方にはいつまでも住み慣れた家で暮らせる安心を。佐呂間町に暮らすすべての皆さまの幸せと笑顔を増やしていくのが私に課せられた使命であり、全身全霊で取り組んでまいれる所存であります。

町民の皆さまの尚一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます、町長就任のご挨拶といたします。